

石油ストーブでの火災

事故の概要

【事例】石油ストーブに給油タンクをセットする際、給油タンクから灯油がこぼれて引火して火災になり、1人が軽傷を負った。

【事例】火災が発生し、1人が死亡した。

【事例】2階建て住宅から出火して約100m²を全焼し、1人が死亡した。

事故の原因

【事例】給油タンクのキャップが完全に締まっていなかったため、こぼれた灯油がストーブにかかり、火災に至ったものです。

【事例】石油ストーブにガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったものです。

【事例】石油ストーブの上に干していた洗濯物が落下し、火災に至ったものです。

再現実験



タンクから漏れた灯油が引火しました



ガソリンを使用すると発火しました



上部に干した洗濯物に引火しました



事故防止のために

給油するときは、必ず火を消してください。また、給油タンクの口金がしっかりとしまっているか確認してください。

間違えてガソリンを入れないでください。

石油ストーブの上部などで洗濯物を干さないでください。また、カーテンやふとんなど燃えやすいものの近くで使用しないでください。

換気を必ず行ってください。酸素が不足すると不完全燃焼を起こすために一酸化炭素が発生し、中毒をおこすおそれがあります。

可燃性のスプレー缶を付近に置いたり、近くで使用しないでください。引火や爆発することがあります。

取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。